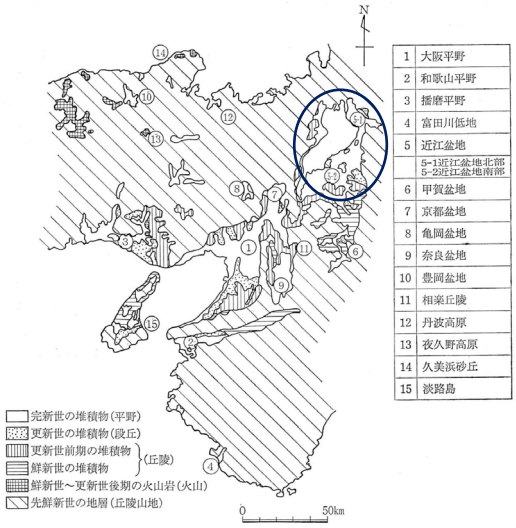
5.近江盆地



地形・地質

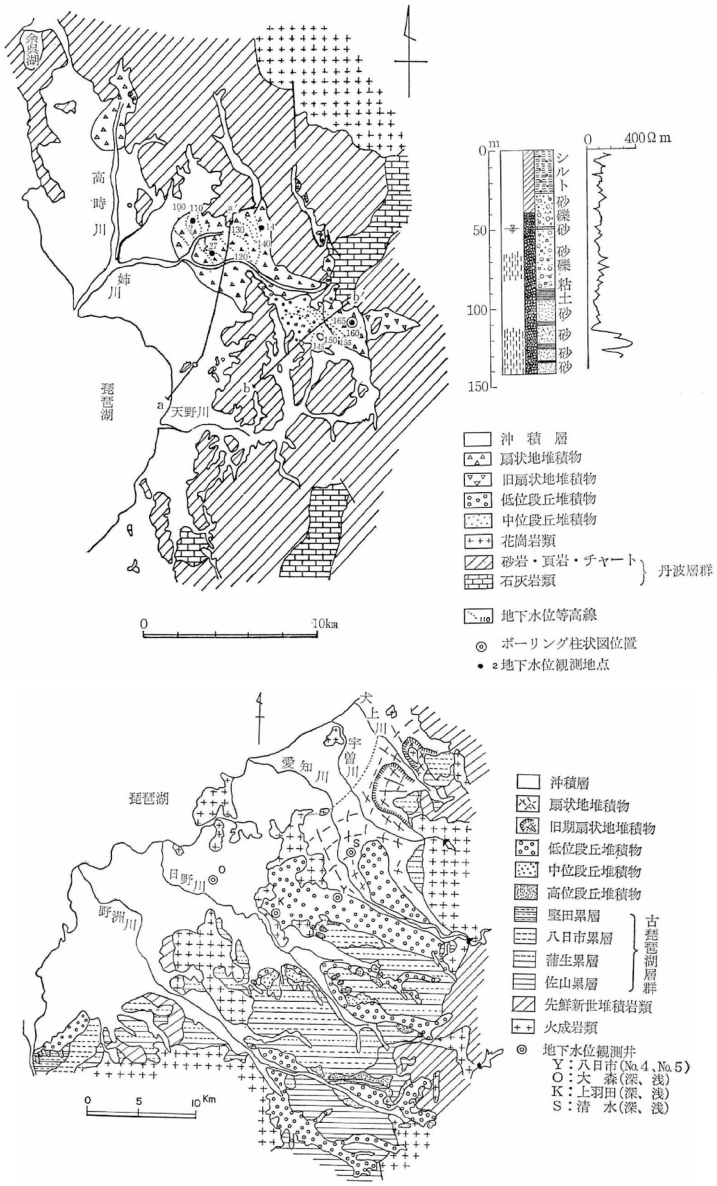
近江盆地北部は琵琶湖北東岸の地域で，姉川河口部には三角州が発達し，河川が山地から低地に出た付近には扇状地がみられます。近江盆地南部は琵琶湖南東岸の地域で，河川沿いに数段の段丘がみられます。地質は古琵琶湖層群を不整合に覆って段丘堆積物や扇状地堆積物，沖積層が分布します。

近江盆地南部地域と周辺地域の地質層序と帯水層

地質年代		絶対年代	地質区分		層相	地下水
第四紀	完新世	万年 - 1	被覆層	沖積層	礫，砂，粘土	主として不圧地下水 湖岸寄りでは被圧している。
	更新世	- 2		最上部洪積層	主として砂礫	
				低位段丘層		
				中位段丘層		
		- 30		高位段丘層		
		- 50	古琵琶湖層群	堅田累層	砂泥層	被圧地下水
		-150		八日市累層	主として砂礫	
		-200		蒲生累層	中粒～粗粒砂を主とする砂，粘土互層	
新第三紀	鮮新世	-300		佐山累層	粘土の優勢な砂，粘土互層	
		-400		油日累層	中粒砂～砂礫	
		-500		島ケ原累層	亜炭，粘土を挟む花崗岩質砂礫	
	中新世		鮎洞層群		礫岩，砂岩，泥岩	——
先新第三紀			花崗岩，流紋岩，中生層，古生層			

地下水

近江盆地北部では，段丘や扇状地性の堆積物とその相当層，一部の沖積層は，不圧地下水の良好な帯水層を，古琵琶湖層群は被圧帯水層を構成しています。近江盆地南部では，古琵琶湖層群八日市累層（被圧帯水層）と愛知川沿岸の扇状地性の堆積物(段丘堆積物を含む・不圧帯水層)は，優れた帯水層となっています。



近江盆地の水文地質図（上図：北部地域、下図：南部地域）

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）